

発行：(社) 福島県臨床衛生検査技師会

〒960-1247 福島市光が丘 1 番地

福島県立医科大学附属病院検査部

発行責任者：比佐 哲夫

編集委員長 金子 隆子

TEL. 024-548-4290

第 46 回東北医学検査学会を終えて

実行委員長 山端 陸夫

第 46 回医学検査学会は、天候にも恵まれた平成 17 年 10 月 15 日(土)、16 日(日)の日程で福島市の「コラッセふくしま」において開催され、110 題の一般演題発表と 700 名余の東北地区会員、賛助会員、学生会員ならびに公開講演における多くの一般市民の参加をいただき、無事盛会裏に終了することができました。



この度の学会におきましては、実行委員および実務委員の皆様には学会当日だけでなく、学会運営の打ち合わせや準備に多くの時間を費やしご協力を頂きましたおかげで滞りなく運営ができました。皆様方のご尽力に感謝し改めて御礼を申し上げます。

本学会の実行委員会の立ち上げの際に念頭において始めたことが二つありました。一つはメインテーマを「変化への挑戦」とした意図です、継続的な医療費抑制が押し進められる中、医療施設における経済効率化と更なる医療貢献が臨床検査技師に求められています。それらに柔軟に対応する一手段として会員個々の「意識改革」がさらに必要とおもわれました。今回の公開講演の白石豊先生のプロスポーツ界での豊富な実例を紹介しながらのメンタルトレーニング法を紹介し皆様の意識改革の一助になればと企画したものです。もう一つは、学会運営に関わる必要経費削減でした。いわゆる会員による手づくりの学会運営を目指したことです。結果的には、二つの課題ともほぼ満足できたものと思っています。

最後になりますが、今回の学会運営の最大の原動力となったのは若手の実行委員・実務委員が中心となって企画・運営が進められたことです。そして、見事に期待に応えてくれたことです、このことを最後にご報告しておきます 17. 12. 7



1. 学会参加総数：657 名
2. この内、会員は 580 名
青森県：24 名 秋田県：33 名 岩手県：39 名
宮城県：87 名 山形県：62 名
福島県：289 名 (実行委員 12 名、実務委員 101 名含む)
新潟県：42 名 茨城県：1 名 東京都：1 名
千葉県：1 名 大阪府：1 名
3. 学生会員：14 名
4. 非会員：63 名
尚、市民参加数
5. 一般公開講演参加市民：80 名

検査のお仕事

検査総合管理部門研修会に参加して
—医療機関における個人情報保護に関して—

寿泉堂総合病院検査科

小野寺 ゆかり

2005年4月より個人情報保護法が施行されましたが、正直、私自身施行後で仕事においても日常生活においても特に変化はありませんでした。

日常の業務の中で、電話の問い合わせが多いため患者IDや患者名、検体番号など個人情報を何かしらメモし対応しています。そのメモや検体のバーコードラベルも個人情報保護法の対象になるので、しっかりとシュレッダーにかけるなどの処理をしていかななくてはならないと改めて実感しました。また、普通の事のように扱っている依頼書や報告書、ワークシートなども処理済みは裏返し、持ち運びの際は表が見えないようちょっとした気配りも必要であると感じました。

これからの課題としては、検査室内で「~さんの結果はあと何分ですか？」などの会話も廊下に聞こえないように対策していかなければいけません。

今回の講演を聞いてまだまだ改善すべき点がありました。今回学んだことをこれからの業務に役立てていきたいと思えます。大変貴重な講演ありがとうございました。



講師：(株) SRL 企画営業部
加藤 俊也 氏



ビックパレットふくしま 3F小会議室にて

検査と精神科

雲雀ヶ丘病院

星 友美子

雲雀ヶ丘病院は、相馬野馬追いで有名な原町市にあります。

診療科目は主に精神神経科で、検査室構成は臨床検査技師1名・診療放射線技師1名・検査助手1名となっております。

検査業務は、全体の約8~9割が入院患者様対象の定期検査なので検査量はそんなに多くはありません。それでも至急やパニック値が出た場合には、直接医師に報告書を持って行き、患者様の状態を聞いたりコメントを追加することで、なるべく現場に足を運ぶようにしています。

当院に来たばかりの頃は、一人で検査全般を任せられるという事で、しばらく不安や緊張がありました。しかし、「自分の出している結果に自信が持てなくてどうする!」と自分に言い聞かせ、わからない場合には教科書や文献を読みあさり、それでもわからない場合には先輩方にご指導を頂いております。

定期的な採血や生理検査では、患者様の精神状態によって拒否される事も時々あり、どのような言葉で接して良いのかわからずにいたこともありました。最近では患者様と話をする機会を持つようにし、対処にも少しずつ慣れてきたところです。

検査業務以外には、患者様の行事にも参加しています。春にはお花見と運動会、夏には海水浴と盆踊り、秋にはバス旅行、冬にはクリスマスパーティーなどの行事があります。例えば、今年のお花見は富岡町の夜ノ森公園に引率としてバスで行きました。あいにく小雨がぱらつき肌寒かったのですが、見事な桜を患者様と楽しむことが出来ました。このような行事は患者様にとって気分転換や社会復帰の為に大切で、自分が患者様に検査以外に何が出来ると考える時間が多くなりました。

当院に勤務して来年で2年目を迎えますが、現在はやっと慣れてきたところで、院内外の精神神経科領域の勉強会にも参加し、検査以外の観点から患者様を見るように心がけています。

検査技師となり病院に勤務するようになって5年になります。知識も経験もまだまだ未熟ですが、沢山の方々に支えられてここまで来ることが出来ました。一人で業務することで、仕事上悩むこともあると思いますが、これからも日々精進して頑張っていきたいと思えます。



第13回福島県臨床検査精度管理調査事業 報告会、学術講演会開催される

「参加して」

株式会社江東微生物研究所 微研東北中央研究所

志賀 真砂子

12月18日、この冬一番の寒気が日本列島に大きく張り出した影響で滅多に雪の降らないいわき市でも雪が降り、おそろおそろ車を運転して郡山へ向かいました。市内は雪が少ないものの冷たい風が吹いていましたが、悪天候にもかかわらず、会場には大勢の参加者で精度管理に対する関心の深さが伺えました。

各検査部門の精度管理担当者の熱心な報告があり、生理検査部門では動画を使用するなどの新しい試みがあり、大変勉強になりました。試料検体の準備など本当にお疲れ様でした。また、コメンテーターの三浦先生の心優しい的確なアドバイスがあり、技師会会員へのさらなる期待が感じられました。



熱気むんむんの会場 参加者 170名

学術講演会、大澤 進教授の「これからの臨床検査技師像」は昼食後行なわれました。求められる能力と将来像については国際規格の制定から始まり、PTCDサイクルによる継続的な品質保証、日常検査値の不確かさの成分、技師の意識改革「顧客を満足することから出発する」の内容で、やる気と目標をもつこと等、これからの技師像へのアドバイスを頂いた講演でした。



講師 大澤 進教授 (九州大学医学部保険学科)

検査部門精度管理各委員に

よって報告された。



- 一般検査部門 赤間孝紀技師 (大原綜合病院)
- 輸血検査部門 菊池良子技師 (白河厚生総合病院)
- 血清検査部門 佐藤由起子技師 (県立会津総合病院)
- 微生物検査部門 山口みどり技師 (福島労災病院)
渡辺和幸技師 (大原医療センター)
- 血液検査部門 大竹瑞枝技師 (いわき市立総合磐城共立病院)
- 生理検査部門 椎根千賀子技師 (寿泉堂綜合病院)
- 臨床化学部門 斎藤市弘技師 (竹田綜合病院)
吉田幸雄技師 (太田西ノ内病院)

学術部からのお知らせ

現在、臨床検査技師の専門性が進み、認定輸血検査技師 認定臨床微生物検査技師・認定血液検査技師、糖尿病療養指導士、細胞検査士、と挑戦された技師の方も多々あります。いずれも更新規定があり、研修会参加単位が課せられています。更新時慌てないようにしたいものです。臨床検査技師会での学会や研修会に参加されたとき、履修証明が必要な場合は申し出て下さい。社団法人福島県臨床衛生検査技師会会長からの証明書の発行が可能です。各支部での開催でも、各支部学術部長が対応しております。積極的に研修会に参加し、研鑽しましょう！

広報部からのおねがい

会誌ふくしまの原稿募集

毎年、1回、会誌が発行されます。例年ですと、そろそろ、会誌に論文を投稿される技師さんから問い合わせがはります。今年度は未だに何の連絡もありません。出そうかどうか迷っていらっしゃる方、ぜひ、一機に気合を入れて、書き上げて下さい。

投稿規程は、医学検査の「論文投稿に当たって」に順じております。ただし、医学検査はB5版ですが、会誌ふくしまは平成17年度から4A版に変わりました。

原稿と一緒にFDもお送りください。

送り先

〒 971-8143 TEL0246-58-8010 (内線 1526)

いわき市鹿島町下蔵持字中沢目 22-1

社団医療法人養生会かしま病院 臨床検査科

金子 隆子

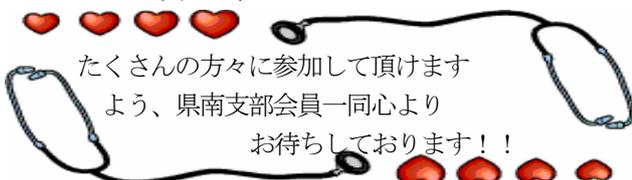
第38回福島医学検査学会並びに
平成18年度(社)福島県臨床衛生検査技師会総会
お知らせ

1. 学会長 柳沼 滋 (太田西ノ内病院)
 2. 副学会長 室 義雄 (泉崎村立病院)
 3. 実行委員長 増子和之 (寿泉堂綜合病院)
 4. 副実行委員長 高木一徳 (総合南東北病院)
 5. 事務局長 田村 功 (太田熱海病院)
- 学会事務局 太田熱海病院臨床検査部内
〒963-8313 郡山市熱海町熱海5-240
Tel024-984-0088 (内線5420) Fax024-984-3164
6. 開催期間 平成18年5月27日(土)より28日(日)



ビックパレットふくしま

7. 会 場 ビックパレットふくしま
(福島県産業交流館) 3F
8. 日 程
5月27日(土) 午後1時受付開始
1) 一般公開講演
“天文現象、地球表面見て歩き”
「勇壮なオーロラの出現に太陽の凄さを見た！」
講師 天文ジャーナリスト 大野裕明先生
2) 平成18年度福島県臨床衛生検査技師会総会
5月28日(日) 午前9時受付開始
3) 一般演題発表：口演発表
(発表7分、質疑応答3分)
4) 教育講演
「睡眠時無呼吸症候群と
生活習慣病との関わりについて」
講師 太田綜合病院睡眠センター長
高崎 雄 司 先生
9. 学会参加費 会員 3,500円
10. 関連行事 情報交換会
日時 平成18年5月27日(土)
午後6時30分～8時30分
場所 郡山ビューホテル 4階 「パラシオ」
会 費 3,000円



たくさんの方々に参加して頂きます
よう、県南支部会員一同心より
お待ちしております！！

演題を奮ってエントリーしよう！

演題申込

予備登録：平成17年11月10日～

平成18年1月23日(月)

抄録原稿：平成18年2月24日

必着(直接学会事務局へ)

届け先：学会事務局 太田熱海病院臨床検査部内

申込票の送付：所定の演題申込票を必ずご使用下さい

★予備登録票 各支部事務局敬経由で

★抄録原稿申込 抄録原稿と一緒に直接学会事務局へ
発表要綱

★発表時間：発表時間7分、質疑応答3分、
計10分以内です 時間厳守で

発表方法

PCプレゼンテーションにて

※スライド・ビデオでの発表はできません

OSはWindowsのみ

アプリケーションはPowerPoint2000以降～2003

本人または共同演者が操作してください

CD-RまたはFDを5月8日(月)必着で

学会事務局へお送り下さい

当日ご自分のパソコンを持参する方は抄録原稿送付
時に演題申込票にご記入ください。また、演題間の
準備時間はありませんので、前演題の発表中に立ち
上げを完了させてください。

日本臨床検査技師連盟にもっと積極的に加入を

平成17年10月締めめの加入者/入金者一覧

比佐哲夫 井上肇 佐藤英子 菅野和典 加藤富枝
佐藤由峰 小林正一 斉藤由枝 遠山ゆり子 金子隆子
藤野高志 白庭京子 市川富美子 武藤和也 渡辺典子
大花昇 山内郁子 根本定子 蛭田栄子 新藤康博 吉
田幸子 山端陸夫 加藤裕一 山崎義一 鈴木弘子 秋
山奈美 (以上28口です)

臨床検査技師を国会に送りましょう。

編集後記

今年も残り少なくなりました。12月18日行
なわれた精度管理報告会は、アイスパーンでつるつるの
道路状況の中、170名も参加されました。臨床検査技師
としての心意気を感じ胸が熱くなりました。

さて、採血中に患者さんが「今朝はたっぺで大変だっ
たあ」とおっしゃる。ん？ 辞書には勿論書いてはあり
ません。いわきでは、アイスパーンのことを「たっぺ」
というようです。この冬は「今日もたっぺだった」とい
うことを何回か耳にします。氷の世界が続いています。

会員の皆様の身近な話題をエコーにお寄せ下さい。
「エコー楽しみしてる」を励みにして……………(か)